（様式①）

事　業　計　画　書　目　次

［環境創造局］　　１款２項１目　　（単位：千円）

計画書頁	事　業　名	令和５年度		令和４年度		増△減（５－４）		新規・拡充
		事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	
1	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業	3,621,051	2,703,656	3,748,137	2,734,006	△ 127,086	△ 30,350	
2	良好な森の育成事業	171,083	164,618	163,745	157,287	7,338	7,331	
3	森を育む人材の育成事業	1,000	1,000	1,000	1,000	0	0	
4	市民が森に関わるきっかけづくり事業	39,931	39,931	41,764	41,764	△ 1,833	△ 1,833	
	計	3,833,065	2,909,205	3,954,646	2,934,057	△ 121,581	△ 24,852	

（様式②-1）

令和　５年度　事業計画書

事業局課	環境創造 局	緑地保全推進 課	新規拡充	□ 新規　□ 拡充	事業評価書番号	1－2－1 1									
事業区分	□ 施設等整備費　■ その他														
歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	2	項	1	目	枝番号	1	前年度事業名称	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業			
事業名称	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り事業						政策番号	31	政策指標	1	施策番号	2	施策指標	1	

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一　般　財　源　等	
		国	県	諸収入	その他	市債	一般財源
令和５年度	3,621,051	917,220	150	0	25	2,108,000	595,656
補助事業	2,687,170	917,220	0	0	0	1,769,000	950
単独事業	933,881		150	0	25	339,000	594,706
令和４年度	3,748,137	1,013,960	150	0	21	2,166,000	568,006
増△減	△ 127,086	△ 96,740	0	0	4	△ 58,000	27,650

歳出		令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算	事業費	3,877,240	3,878,763	3,926,546
	市債＋一般財源	2,735,360	2,740,031	2,800,276
決算	事業費	3,806,729	3,905,200	3,490,069
	市債＋一般財源	2,710,723	2,825,010	2,576,743

令和６年度	令和７年度	令和８年度
－	－	－
－	－	－

事業概要	市内に残る貴重な緑地について、緑地保全制度の地区指定を積極的に進めるとともに、特別緑地保全地区や市民の森等の指定地で、法に基づく買入れ申し出や、不測の事態により所有者から買入れ申し出があった場合に対応します。 また、民有山林である市民の森、ふれあいの樹林、緑地保存地区、源流の森保存地区の所有者に奨励金等を支出します。
事業開始年度	昭和44年・昭和46年度
根拠法令・方針決裁等	都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法、緑の環境をつくり育てる条例、横浜市市民の森設置事業実施要綱／横浜市緑地保存事業実施要綱／横浜市源流の森保存事業実施要綱、横浜市市民の森設置事業実施要綱／ふれあいの樹林設置事業実施要綱、（財）かながわトラストみどり財団緑地等保全事業の助成に関する要綱
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 （必要性）	みどりアップ計画[2019-2023]に基づき、まとまりのある樹林地を保全して次世代に引き継ぐため、5か年で300haの指定を目指して、特別緑地保全地区を始めとする緑地保全制度への指定を積極的に進めます。また、特別緑地保全地区等の指定地で、不測の事態等が発生し、本市への買入れ申し出があった場合には、樹林地の買取りに対応します。
根拠・データ等	横浜みどりアップ計画[2019-2023]（平成30年11月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書 緑被率（令和元年度調査結果）

事業指標		年度	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度	７年度	８年度
緑地保全制度の新規指定面積	単位	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	－	－	－
	ha	実績	28.9	31.9					
緑地保全制度の買取り等面積	単位	想定	23.0	22.6	22.5	22.4	－	－	－
	ha	実績	18.9	19.6					
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	・年間を通じて、緑地保全制度の指定を進めるとともに、買入れ申し出に対応 ・奨励金等については、 随時執行する

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	５年度	４年度	差引（増減）	増減説明
①	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	3,231,013	3,253,955	▲ 22,942	買取り想定金額の減
②	緑地保存地区等奨励金	390,038	494,182	▲ 104,144	対象面積の減
	細事業合計	3,621,051	3,748,137	▲ 127,086	

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	関口　昇	福野　淳	鈴木　智美

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

（様式②-1）

令和　５年度　事業計画書

事業局課	環境創造 局	みどりアップ推進 課				新規拡充	□ 新規　□ 拡充				事業評価書番号	1-2-1 2	
事業区分	□ 施設等整備費　■ その他												
歳出予算科目	みどり保全創造事業費 会計	1	款	2	項	1	目	枝番号	2		前年度事業名称	良好な森の育成事業	
事業名称	良好な森の育成事業					政策番号	31	政策指標	1	施策番号	2	施策指標	-

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和５年度	171,083	0	0	6,465		0	164,618
補助事業							0
単独事業							0
令和４年度	163,745	0	0	6,458		0	157,287
増△減	7,338	0	0	7	0	0	7,331

歳出		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
予算	事業費	161,438	160,932	161,649	-	-	-
	市債＋一般財源	159,437	158,171	155,128	-	-	-
決算	事業費	138,688	155,154	163,322			
	市債＋一般財源	132,102	146,758	158,195			

事業概要	みどりアップ計画により保全した森を次世代に引き継いでいくため、森に期待される多様な機能が発揮できるよう良好な森づくりを進めます。
事業開始年度	平成21年度
根拠法令・方針決裁等	緑の環境をつくり育てる条例／横浜市市民の森設置事業実施要綱／ふれあいの樹林設置事業実施要綱／都市公園法／横浜市公園条例
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 （必要性）	都市における緑には、生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災など多くの機能や役割があります。 これらを次世代に引き継いでいくためには、これらの機能や役割に配慮した良好な森づくりが求められます。 このため、地域の特性を踏まえ、愛護会等と連携して保全管理計画を策定し、森づくりガイドラインを活用した維持管理を進めます。
根拠・データ等	・管理面積（樹林地） ＜実績推移＞２年度828ha、３年度848.3ha、４年度870.8ha（見込）、令和５年度894.5ha（見込） ・緑地保全制度の新規指定面積 ＜実績推移＞２年度28.9ha、３年度31.9ha、４年度60ha（見込）、令和５年度60ha（見込） ・緑地保全制度の買取等面積 ＜実績推移＞２年度18.9ha、３年度19.6ha、４年度22.5ha（見込）、令和５年度22.4ha（見込）

事業指標		年度	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度	７年度	８年度
維持管理	単位	目標	推進	推進	推進	推進	-	-	-
	か所	実績	160	163					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	森の多様な機能に着目した森づくりの推進：通年

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	５年度	４年度	差引（増減）	増減説明
	① 森の多様な機能に着目した森づくりの推進	171,083	163,745	7,338	管理面積の増
	細事業合計	171,083	163,745	7,338	

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	小田嶋　鉄朗	清水　恭子	長神　頌子

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

（様式②-1）

令和　５年度　事業計画書

事業局課	環境創造 局	みどりアップ推進 課				新規拡充	□ 新規　□ 拡充				事業評価書番号	－	
事業区分	□ 施設等整備費　■ その他												
歳出予算科目	みどり保全創造事業費 会計	1	款	2	項	1	目	枝番号	3		前年度事業名称	森を育む人材の育成事業	
事業名称	森を育む人材の育成事業					政策番号	31	政策指標	2	施策番号	2	施策指標	－

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和５年度	1,000	0	0	0		0	1,000
補助事業							0
単独事業							0
令和４年度	1,000	0	0	0		0	1,000
増△減	0	0	0	0	0	0	0

歳出		令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算	事業費	1,000	1,000	1,000
	市債＋一般財源	1,000	1,000	1,000
決算	事業費	957	968	198
	市債＋一般財源	957	968	198

令和６年度	令和７年度	令和８年度
－	－	－
－	－	－

事業概要	間伐材を活用する研修を開催し、森づくり活動団体の活動で発生する間伐材の有効活用を推進します。
事業開始年度	平成21年度
根拠法令・方針決裁等	横浜市協働による森づくり要綱
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 （必要性）	横浜みどりアップ計画[2019-2023]の計画の柱１「市民とともに次世代につなぐ森を育む」を実現するため、森の持つ多様な機能や役割に配慮しながら、市民・事業者とともに森の保全、育成、活用に取り組んでいきます。そのためには、森づくり活動に取り組む市民や団体を対象に、活動に知識や技術に関する研修を実施し、森を育む「人」を育てていく必要があります。 また森づくり活動を行う団体を対象に、活動に必要な支援として研修を行い、発生する間伐材の有効活用についての推進します。 【効果（必要性）】 （１）市民協働により、横浜の森を次世代に引き継ぐことができます。 （２）市民協働により、良好な森を育成することができます。
根拠・データ等	横浜の緑に関する市民及び土地所有者意識調査（2017年７月～８月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023]（平成30年11月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書

事業指標		年度	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度	７年度	８年度
間伐材マネジメント研修	単位 か所	目標	1	1	1	1	－	－	－
		実績	1	1					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	５年度	４年度	差引（増減）	増減説明
	① 森づくり活動団体への支援	1,000	1,000	0	
	細事業合計	1,000	1,000	0	

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	小田嶋　鉄朗	山崎　紘子	荻原　麻衣

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

（様式②-1）

令和　５年度　事業計画書

事業局課	環境創造 局	みどりアップ推進 課	新規拡充	□ 新規　□ 拡充	事業評価書番号	1-2-1 3									
事業区分	□ 施設等整備費　■ その他														
歳出予算科目	みどり保全創造事業費 会計	1	款	2	項	1	目	枝番号	4	前年度事業名称	市民が森に関わるきっかけづくり事業				
事業名称	市民が森に関わるきっかけづくり事業					政策番号	31	政策指標	2	施策番号	2	施策指標	－		

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和５年度	39,931	0	0	0		0	39,931
補助事業							0
単独事業							0
令和４年度	41,764	0	0	0		0	41,764
増△減	△ 1,833	0	0	0	0	0	△ 1,833

歳出		令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算	事業費	42,740	42,740	40,000
予算	市債＋一般財源	42,740	42,740	40,000
決算	事業費	37,921	39,865	37,300
決算	市債＋一般財源	37,921	39,865	37,300

令和６年度	令和７年度	令和８年度
－	－	－
－	－	－

事業概要	横浜の森について理解を深め、さらには行動につなげるため、森に関するイベントや情報の発信の拠点として市内５か所でウェルカムセンターを運営し、市民が森に関わるきっかけを提供します。
事業開始年度	平成26年度
根拠法令・方針決裁等	ウェルカムセンター運営事務取扱要領、地方自治法
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 （必要性）	横浜みどりアップ計画[2019-2023]の計画の柱１「市民とともに次世代につなぐ森を育む」を実現するため、森の持つ多様な機能や役割に配慮しながら、市民・事業者とともに森の保全、育成、活用に取り組んでいきます。そのためには、森に関わるきっかけとなり、環境を学ぶ機会にもなる講座・イベントや広報の取組を展開することで、普段森に関わることの少ない市民へ森の魅力を伝え、森に関わる市民の裾野を広げる必要があります。 効果（必要性） 市内５館にあるウェルカムセンターでは、各館の特徴を生かしながら専門職員がウェルカムセンターの展示施設を活用し、森を安全に散策するための情報や森の生きもの情報等を発信する「森の情報提供」、森を知り、楽しむための講座等を開催する「普及啓発・環境教育」を行います。運営にあたっては意見交換会を行うなどウェルカムセンター５館の連携を高め、効果的に進めていきます。 また、ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等を開催することで、市民の森の利用者の増加等、市民が森に関わる機会が増え、森に対する理解がより深まることが期待されます。 【ウェルカムセンター５館】 ・横浜自然観察の森　自然観察センター ・にいはる里山交流センター ・舞岡ふるさと村　虹の家 ・寺家ふるさと村　四季の家 ・環境活動支援センター交流スペース
根拠・データ等	横浜の緑に関する市民及び土地所有者意識調査（2017年７月～８月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023]（平成30年11月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書

事業指標		年度	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度	７年度	８年度
周辺の緑を活用したイベント等	単位	目標	10	10	10	10	－	－	－
	回	実績	8	10					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	ウェルカムセンター５館運営：通年

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	５年度	４年度	差引（増減）	増減説明
	① 森に関する情報発信	39,931	41,764	▲ 1,833	実績に合わせた減
	細事業合計	39,931	41,764	▲ 1,833	

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	小田嶋　鉄朗	山崎　紘子	大嶽　尚己

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1